

『 桑 の 木 』 幼児

27年度は、30名でスタートし、2ヶ月経過しました。

4月はてんやわんやの1ヶ月でした。

5月に入り1・2日と子ども合宿を行ないました。

合宿参加対象幼児は、年中さん(4歳以上)で、1年以上 桑の木で経験を積まれたお子さん13名の参加でした。

毎年恒例になっている温泉"ゆう~ゆ~"、今年はやめて、ドリームのお風呂を使いました。そのため、男子の着替えや入浴の様子を知ることが出来たことで、子ども達の課題も見えてきました。また、寝つきの様子、睡眠の様子、起床した後の様子なども分かりました。

今回の経験をいかし日々の取り組みに取り入れて行きたいと思います。特に、入浴の問題は毎週行っているプールの着替えやシャワーの使い方 からだの洗い方を含めて支援を続けたいと思っています。



みんなでゲームをしました



2人ずつお風呂に入りました



朝の散歩
ガストまでの3km歩きました



『 ぱ れ っ と 』 中学・高校生

今年度はぱれっとも新しい仲間が加わり、18名でのスタートです。桜の季節も終わり、草木が青々と茂る季節になりましたね。今ぱれっとは、除草作業に力を入れています。各自用意した作業服に着替え、やる気もバッチリ！ぱれっとの建物の周りの草を、1つ1つ丁寧に、自分の所に草が1本も無くなるまで、皆一生懸命に草を取ります。実際に外に出て土に触れ、草を取ってみると、色々な発見があります。大きな石の下にはダンゴムシやミミズなどの虫がいて、驚く子もいれば、興味津々というようにジーッと見つめる子もいます。また草と言っても、多くの種類があります。「あっ、これタンポポだ！」「これ何？」「これも取っていいの？」草取りのかたわら、たくさんの発見をしています。草取りが終わった後は、きれいになった地面を見て、嬉しそうに、ちょっぴり得意げに、「ここ、ぼくが取ったんだー」と指導員に教えてくれます。今年度新しく入った小学生の友達も、毎日「草むしりは？」「草むしりしたい」と、指導員に言って、熱心に取り組んでくれます。みんな1つ学年が上がって、たくましく成長を続けている仲間達と楽しく活動しているぱれっとはです。



グループホーム・・・ 明日葉(男子)・明日葉S・明日葉T



明日葉ホームでは(男子)、毎週火曜日に交代で調理実習を行なっています。最近では数を重ねるたびにトッピングなど上手にできるようになってきました。当番でない人は来週は何かと楽しみにするようになりました。

27年7月完成予定の明日葉Uです。すでに3名の入居者は決まっています。後一名の枠がありますが、この枠も2名の見

『 糸 車 』 小学生

今年度の糸車は、新一年生を5名迎え、24名でスタートしました。5月に早速、子ども合宿(土曜日組)がありました。例年より少し早い子ども合宿でした。女の子は、日帰り温泉ゆう~ゆへ行きました。着替えに戸惑う子、シャンプーが目の中に入り騒ぎ出す子、巻きタオルを使い上手に着替えをする子と様々でした。その中で、これからの糸車で支援課題が見られるお風呂でした。朝7時から朝の散歩をしました。少し冷たい風を感じながら、約3kmを歩きました。ガストまでの道を「まだー」「もうすぐ着く？」「おなかすいたー」と言いながら歩きました。モーニングメニューをおいしくいただきました。生活リズムを実践しながら1泊2日を元気に過ごすことができました。子ども達から、「また、お泊り夏休みにあるんでしょー」といつも子ども合宿を夏にしていたためこんなことも言っていました。これからまた、親子合宿、子ども合宿(平日組)、赤城山登り、父子合宿など、たくさんの行事があります。たくさんのお子さんの参加を待っています。



お泊り保育の最後のプログラム
"昼食作り"楽しかった。



ゲーム・夕食
一番はお風呂が楽しかった。
でも順番を待つ時間が長かった。



サポート部門 ヘルプ24

いつもヘルプ24をご利用頂きありがとうございます。

27年度は新しい職員の小林が加わり5人でのサポートが始まりました。最近では移動支援の申し込み者が増え、月曜日は5人フルで支援しております。

グループや個人での申し込みなど利用者さんの希望に沿った支援を27年度も行って行きたいと思えます。最近では、暑くなってきたせいか「プールに行きたい」という希望があり、ヘルプ24ではじめてプールに行ってきました。参加した利用者さんはとっても楽しかったようで、「また行きたい」と話していました。これで、この夏は運動不足の解消とダイエットになるかな？！！

ステーション事業の方では、群馬県障害政策課に寄せられた寄託金を頂き新しいおもちゃなど必要なものをそろえる事が出来ました。ヘルプ24でお家と変わらず楽しく過ごせる空間が整えられたのではないかと考えています。今年度も宜しくお願い致します。

ひとこし発達相談室

昨年度から、当事業所で計画を作成しているKさんのモニタリングに行ってきました。部屋に入ってみて、すぐに部屋が明るくなったな~と感じました。カーテンが閉め切りだった部屋に、光が入り、ほこりと煙草の灰でくすんでいた床と畳が、一皮むけたようになっていました。Kさんは、電気カミソリで念入りにひげをそっていたので、終わったタイミングで「おからだの調子はどうですか？」とたずねると「いいよ。」と機嫌よく返事をしてくれました。その後、ヘルパーさんに話し合いに参加していただきました。計画がスタートしてから、ヘルパーさんの訪問時間が倍になり、部屋の掃除や布団干しをする時間ができた。糖尿病の為、同行援護を利用して月に2回通院が継続できている。体調管理の為、カロリーの低い、ゼリーなど手作りおやつを、作ることができている。(最初は、食べてもらえなかったが今は、完食してくれている。)とのことでした。支援をしてきて、Kさんの生活がすこしづつ向上してきている様子を感じました。ご本人支援という事が少し、感じられた気がしました。また、現状を維持していくことは難しい為、定期的に訪問して現場の雰囲気を確認していこうと思いました。